

注意!

サクラの害虫 クビアカツヤカミキリ

クビアカツヤカミキリはサクラ、ウメ、モモなどの木の内部を食い荒らし、樹木を枯らしてしまうこともある**特定外来生物**です。
奈良県では2019年に確認されて以降年々被害が拡大しています。



生きているサクラなどの木に

こんなフラス

や

こんな^{あな}孔

がありませんか



樹皮を ↓ はがすと...



被害木の特徴

- 被害を受ける樹種はサクラ、ウメ、モモなどバラ科樹木
- 幼虫が木の内部を食い荒らすと、写真のようなフラス(幼虫のフンと木くずが混ざったもの)を大量に排出
- フラスが出る時期は4月末～10月末
- 樹皮を一部残した楕円形の孔があいている
(脱出予定孔といいます。成虫が外へ脱出する時にこの孔から出てきます。)

幼虫は2,3年間木の中で生活します。成虫となって木から飛び出し、たくさんの卵をサクラなどに産み付けます



クビアカツヤカミキリ成虫

成虫の特徴

- 全体に光沢のある黒色で胸部が赤い
- 体長は2.5～4cm
- 活動時期は5月末～8月末

フラス・脱出予定孔を見つけたら...

ネットを巻く・薬剤を注入するなど対策が必要です。
※成虫・フラス・脱出予定孔を発見した場合は、下記へお問い合わせください。

成虫を見つけたら...

その場で踏みつぶすなど駆除してください。
特定外来生物に指定されているため、生きたまま移動させると違法行為となります。



問い合わせの前にご確認ください!

被害木は、**サクラ、ウメ、モモ、スモモ、ハナモモ**ですか?

上記以外の樹種からフラスが出ていても、クビアカツヤカミキリの被害ではありません。

農地以外の場合：最寄りの市町村担当課または県景観・自然環境課 ☎0742-27-8757
農地の場合：県病害虫防除所 ☎0744-47-4481
詳しくは、🌐www.pref.nara.jp/2613.htm

特集

県民ニュース

奈良を知ろう

暮らしに役立つ

お知らせ